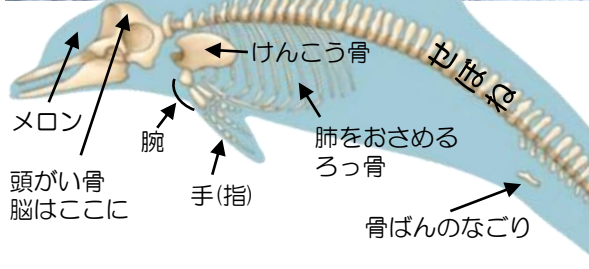




くびれていないけど「くび」はあるよっ!



イルカの基礎知識 骨編

イルカは、海に住んでいる哺乳類で、骨の構造は、私たちヒトと似ているところがたくさんあります。まずは、似ているところを紹介しましょう。

動物の体を支える主要な要素である、骨格は、前後（ヒトであれば上下）に連なる**背骨**と、前方にある**頭がい骨**。胸部には**肋骨**（あばら骨）と**肩甲骨**からつながる**上肢**（腕）です。

イルカの見え目からはちよつとわかりにくいですが、実は私たちヒトの首にあたる**頸椎**が（まったくくびれていません）しっかりとあります。背骨の上部にある**頸椎**は、基本的には7つ（ヒトと同じ）ありますが、くつついてしまつて境目がわからない種類もあります。7つの骨がくつついている度合いで、首の動きが多いか少ないかが決まります。

肩甲骨から指にかけての構造もヒトとほぼ同じで、上腕1本、前腕2本、指が5本です。

違

うところは？

次に、ヒトとイルカの異なる部分について。大きな違い一つ目が、**頭がい骨の位置**。ヒトはおでこを触ると、硬い骨をこつこつできますが、イルカの場合はおでこのすぐ後ろに**メロン**があるので、プロヨしています。

2つ目は**脚と足がない**（これはすぐにわかりますね）こと。泳ぐことに特化した進化の過程でなくなりました。下肢が不要になったので、腰から下部分の骨には、三角形のせん骨ががなく、腰椎に続けて**尾椎**となります。

背びれと尾びれには骨がない

それに加えて意外と知られていないことがある、**背びれと尾びれには骨がない**ということ。硬くて頑丈なイメージのある部位ですが、中に骨は備わっていません。



進化のために退化した

むかーしむかしイルカ祖先は、陸に住み、四つ足歩行をしていました。その後長い年月を経て、水中での生活に適応するために退化し完全に消失しました。脚の代わりに発達したのが**尾びれ**と考えられています。

実は、四つ足歩行をしていた証拠が現在のイルカに残っているのです！それが**骨盤**（かん骨）です。現代のイルカたちには必要ないですが、痕跡として体内に今も残っています。このまま水中での生活を選ぶとしたら、きっといつかはそれもなくなくなるかも？かもしれません。



記事や活動についてのお問い合わせ

天草イルカラボ

amakusa_dolphin

検索

天草イルカ調査室

天草漁協 通詞島沖イルカ環境実態調査事業



やってるよ!

